



地域住民と懇談する鈴木院長（右）  
＝磐田市匂坂上の岩田交流センター

# 地域への医療啓発強化

## 磐田市立総合病院 住民向け勉強会展開

磐田市立総合病院が地域への医療啓発活動を強化している。鈴木昌八病院長が同市内で巡回のタウンミーティングを展開し、地域の医療の現状や健康寿命延伸に向けた対策などを市民に伝えている。

同市の岩田交流センターに11月中旬、地域住民約50人が集まった。鈴木院長は「皆さんにぜひ知ってほしい」と前置きし、団塊の世代が後期高齢者になり社会保障費の増大が見込まれる「2025年問題」や、中東遠圏域で専門性の高い医療を完結させる「地域医療構想」の策定状況などを説明した。

事や生活の話聞き、参考になっている。地域医療に関心を持つ人を増やしたい」と意欲を語った。  
(磐田支局・高松勝)

県内の医師不足の状況も解説し、地元でかかりつけ医を持つことの大切さを強調。生活習慣病予防策に向け、日常的に野菜を食べ、運動を続けるといった対策も示した。

本年度は市内6地区で同様の集会を開催し、今後も継続する方針。鈴木院長は「住民の皆さんから実際の食